

# 跡地利用がビックチャンス！



【写真】講義後の意見交換の様子



## 池田孝之教授を招き 合同勉強会を開催

去る平成 20 年 12 月 6 日(土)に  
宜野湾市農協会館 2 階において、若  
手の会とNBミーティング合同での  
「第 1 回合同勉強会」を開催しまし  
た(43 名が参加)。

今回は池田孝之教授を講師に迎え、「那覇新都心等との比較論～そこから見えてくる普天間での取り組み方向について～」をテーマに、那覇新都心地区・那覇軍港地区・泡瀬ゴルフ場地区等の自身が携わってきた跡地利用計画について紹介していただき、それらの長所・短所を踏まえた普天間飛行場跡地利用の方向性について講演していただきました。勉強会をとおして、跡地利用の進め方や地権者・市民の心構え、返還時期が定まっていない今やるべきこと等を学ぶことができました。

### 勉強会のポイント

- ・国、県、業者などに任せっぱなしの跡地開発は失敗を招く。自ら関わっていく必要があり、地権者や市民もトレーニングし、知識を高めることが求められる。
- ・商業は周辺環境を見ても飽和状態。沖縄のセントラルパーク(大規模な公園)を公共事業としてつくってみてはどうか。セントラルパークをつくれる最後のチャンスになるだろう。跡地開発に公共事業を組み込むことにより、地権者の負担も軽減できる。
- ・宜野湾市のいびつな周辺市街地環境を改善するチャンス！跡地利用とリンクさせた整備計画が求められる。

### 「若手の会」の活動に関心のある方はご連絡下さい！

「若手の会」は、普天間飛行場のまちづくりに向けた検討組織として現在 36 名で活発に活動しており、毎月 1 回定期的に会合を開催しています(毎月第 2 火曜日の午後 7 時 30 分より、中央公民館展示室〔宜野湾市民会館 2 階〕)。本会の活動に関心のある方は、宜野湾市基地政策部基地跡地対策課までご連絡下さい。



# ふるさと

第 26 号

発行 / 宜野湾市役所 基地政策部 基地跡地対策課  
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩 1-1-1  
電話 098-893-4401 (直通) Fax 098-892-7022  
Eメール kichi01@city.ginowan.okinawa.jp  
ホームページ http://www.city.ginowan.okinawa.jp/



11月29日に開催された地権者懇談会

## 地権者懇談会が開催されました！

平成 20 年 11 月 24 日(祝・月)及び 11 月 29 日(土)の 2 日間にわたり、「平成 20 年度 普天間飛行場地権者懇談会」を開催し、133 名(2 日間合計)の地権者の方々にご参加いただきました(詳しくは本紙 3 面でご紹介します)。

【お知らせ】地権者の皆さんを対象とした講演会を開催します

## 那覇新都心等の開発との比較 ～そこから見えてくる普天間での取り組み方向について～

入場  
無料

平成 21 年 2 月 14 日(土) 15:00~17:00(14:30 開場) 宜野湾市農協会館 2 階ホール  
講師:池田孝之 氏(琉球大学工学部環境建設工学科教授)

「那覇新都心等の開発との比較」をテーマに、他地域の事例を紹介しながら普天間における土地利用や機能導入等の考え方について、専門的な側面からの提案等をお話していただく予定です。

ふるさと 26 号

- 2 面 神戸・芦屋への視察会を実施 ..... 視察報告
- 3 面 跡地利用に向けて着々と前進 ..... 地権者懇談会報告
- 4 面 跡地利用がビックチャンス! ..... 合同勉強会の開催



【写真(左)】HAT神戸において神戸市担当者から説明を受けるメンバー  
【写真(右上)】HAT神戸 【写真(右下)】神戸ハーバーランド



# 神戸・芦屋への視察会を実施

## 「収穫の多い先進地視察会」若手の会が実施

去る平成 20 年 10 月 2 日～4 日にかけて、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下若手の会）」では、市民のまちづくり勉強会組織である「ねたてのまちベースミーティング（以下NBミーティング）」と合同で、住宅地と都市拠点テーマとした視察会が実施されました（総勢 17 名）。

今回は、兵庫県神戸市の都市拠点事例（神戸ハーバーランド、HAT 神戸、神戸ポートアイランド）、三田市・芦屋市の住宅地事例（ワシントン村、六麓荘町地区、ユートピア芦屋、ベルポート芦屋）の計 7 箇所を見学しました。沖縄県では見ることができない非常に特徴的な街並みや住宅事例を学ぶことができ、収穫の多い視察会となりました。

視察成果は翌月 11 月の定例会でまとめられ、参考となる点を取り入れながら「若手の会が考える跡地における都市拠点・住宅地」の検討が進められています。なお、今年度の検討成果は提言書としてとりまとめられる予定です（内容は次号で紹介予定）。

## 特徴的なまちを紹介します！

### HAT神戸（神戸市）

阪神大震災の復興プロジェクトで開発された「神戸市の東の拠点」。震災の教訓から学び、災害に対する工夫が多く導入されている。また、国際機関（JICA、WHO の施設）や震災を後世に語り継ぐためのメモリアルセンターも整備されている。普天間ではどんな工夫が必要だろうか？

### 神戸ハーバーランド（神戸市）

市民に海岸域を開放することを目的に開発された「神戸市の西の拠点」。商業施設が多く集積し、神戸を代表する景観を見ることができる観光地にもなっている。

### ワシントン村（三田市）

庭に芝生があるゆったりとしたアメリカ風の住宅地。緑が多く歩行者専用道路もあり、住民の管理組合による景観の維持が実践されている。

### 六麓荘町地区（芦屋市）

企業の社長や著名人が多く住む日本を代表する高級住宅地。最低敷地面積の規制（400㎡以上）を導入していることによりゆったりとした住環境が実現されており、個性的な建物も多い。街並みは細かな規制と住民の高い意識により守られている。

### ベルポート芦屋（芦屋市）

国内初、家の隣に船が停められる住宅地。クルーザーを持っているような富裕層に需要が限定されるが、「ここにしかない」強い特徴を持っている。「普天間しかない」はどんなものだろうか？



ワシントン村



六麓荘町地区



ベルポート芦屋

# 跡地利用に向けて着々と前進

## 「跡地の土地利用・環境づくりに 関する提案」で提示された 4 分野



振興拠点



住宅地



都市拠点



環境・公園

## 地権者懇談会で 4 分野の事例紹介

平成 20 年 11 月 24・29 日の 2 日間にわたって「平成 20 年度 地権者懇談会」を開催しました（24 日：宜野湾マリン支援センター、29 日：宜野湾市農協会館）。懇談会では、今年度の跡地利用に関わる取組内容の説明、県・市で作成した「跡地の土地利用・環境づくりに関する提案」の紹介及びそれに対する意見交換を行いました。

懇談会後半では「跡地の土地利用・環境づくりに関する提案」の説明と併せて、提案内容のイメージを具体的に表した 62 個の事例を、写真を見ながら紹介し、「普天間跡地のイメージに合う事例であるかどうか」という視点で意見交換を行いました。今回の懇談会や 1 月に開催された県民フォーラム等でいただいた意見は、今年度内に作成される「土地利用・環境づくりの方針案」に反映され、跡地利用に向けて着々と取組が進められていきます。



地権者懇談会の様子

### 地権者の皆さんからの意見（一部紹介）

- これだけの規模があるため、自分の財産がどのようになるのか、開発を行うのであればもっと良いやり方があるのではないかと感じる。あくまでも地権者の土地ということをしっかり理解して進めてもらいたい。
- 今回の提案には賛成でもあり反対でもある。これをやるのであれば、予算がどの程度かかり、土地がどの程度必要なのか、そのあたりまで煮詰めて資料を提示してほしい。
- 事例がたくさん載っていて良いと思う。しかし、事例については運営がうまくいっているのか等の情報がわからないので、そういったことも参考に判断したいので入れてほしい。

